

地震「現地の協力で治療」

AMD A医師ら4人帰国

インドネシア・ジャワ

島地震の被災者らを治療するために派遣されていた国際医療NGO「AMD A」（本部・岡山市）の医師らのうち4人が帰国し14日、岡山市内で活動報告の記者会見を開い

た。

会見したのは、医師の細村幹夫さん（40）、看護師の峯岸亜紀子さん（27）、調整員の館野和之さん（43）、石沢睦夫さん（69）。細村さんらは先月31日に現地入り。シヨクジャ

カルタから約30キロ離れた場所の診療センターを拠

点に、周辺を巡回して軽度の骨折や風邪、下痢などの治療に携わった。細村さんは「地震直後で初期医療に手が回らなくなっていた。言葉の問題は、現地の医師と協力し

て診療したため乗り切れた」と説明した。

今後の医療支援について、菅波茂・AMD A代表は「子どもたちのトラウマにどう対処するかを考えなくてはならない」と述べた。

AMD Aのスタッフは14日現在、日本人医師・調整員やインドネシア人医師ら11人が、被災地近くに残っており、地震発生から1カ月をめどに巡回治療を続けるという。



被災地で診察する細村幹夫医師（AMD A提供）